

平成 30 年 11 月 12 日

各 位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 田中 勝英
東京都中央区日本橋2丁目7番1号



太陽生命、東京都健康長寿医療センターと 「歩行速度データ」を活用した共同研究を実施

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 田中勝英）は、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター（理事長 井藤英喜、以下「東京都健康長寿医療センター」）と、『認知症予防アプリ』で計測した歩行速度データに基づく共同研究を開始したのでお知らせいたします。

当社は、本格的な超高齢社会、「人生 100 歳時代」の到来に向け、「健康寿命の延伸」すなわち“元気に長生きする”という社会的課題にこたえるため、平成 28 年 6 月より、「従業員」「お客様」「社会」のすべてを元気にする取組み、「太陽の元氣プロジェクト」を推進し、様々な施策を展開してまいりました。その一環として、同年 10 月より、東京都健康長寿医療センターの大淵修一医学博士の監修による、歩行速度を継続的に測定し、認知症・MC I（軽度認知障害）のリスク予兆が発見された場合にご本人とごご家族に通知するスマートフォンアプリ『認知症予防アプリ』のお客様への提供を開始しました。現在、ダウンロード数は 5 万件を超え、全国の多くのお客様にご利用いただいています。

この度、東京都健康長寿医療センターと、『認知症予防アプリ』での計測により蓄積された膨大な歩行速度データを用いて、日常的歩行速度の「性別・年齢別基準値」および「地域差や季節変動」を明らかにするための共同研究を行うこととなりました。これらによって、認知症を含む老年症候群^(*)の判定が簡易化され、その予防行動を開始するタイミングを計る指標として活用されることが期待されます。

◇共同研究の概要◇

〔研究目的〕『認知症予防アプリ』により計測された大規模な歩行速度データから日常的歩行速度の「性別・年齢別基準値」および「地域差や季節変動」を明らかにする。

〔研究意義〕老年症候群判定の簡易化、老年症候群の予防行動を開始する指標としての活用

〔研究体制〕東京都健康長寿医療センターと太陽生命保険株式会社による共同研究

（研究代表者：東京都健康長寿医療センター 大淵修一医学博士）

〔研究期間〕2018 年 10 月～2021 年 3 月

当社は、今後も当社保有データを活用した外部研究機関等との協働による研究等を進め、商品・サービス開発に活かすとともに、認知症をはじめとする超高齢社会の課題解決に取り組んでまいります。

以 上

(*) 老化にとまない心身に現れる様々な症状の総称。



100歳時代シリーズ

ひまわり認知症 予防 保険 100歳時代年金

おかけ隊

